９ 環境配慮改修工事

１アスベスト含有建材の処理工事

施工調査

※ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材の事前調査 (9.1.1)

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりｱｽﾍﾞｽﾄを含有している吹付材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する

調査範囲 ・図示 ・

貸与資料 ・

・分析によるｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材の調査

分析対象：ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ

分析方法(ｻﾝﾌﾟﾙ数：3ｻﾝﾌﾟﾙ/箇所)

材料名	定性分析(JISA1481-2)	定量分析(JISA1481-3)
	・(箇所数：)	・(箇所数：)
	・(箇所数：)	・(箇所数：)
	・(箇所数：)	・(箇所数：)
	・(箇所数：)	・(箇所数：)

採取箇所 ・図示 ・

ｱｽﾍﾞｽﾄ粉じん濃度測定 ・行う ・行わない

測定室( )

[屋内改修用]

適用	測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考
・	処理作業前	測定１	処理作業室内	各2点又は3点	(注) 1
		測定２	調査対象室外部の付近	計2点	大気
・	処理作業中	測定３	処理作業室内	各2点又は3点	(注) 1
・		測定４	負圧・粉塵装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の各位置2点	―
・		測定５	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	―
・	処理作業後(ｼｰﾄ養生中)	測定６	処理作業室内	計2点	―
・	処理作業後ｼｰﾄ撤去後1週間以降	測定７	処理作業室内	各2点又は3点	(注) 1
・		測定８	調査対象室外部の付近	計2点	大気

注1 各施工箇所ごとの室面積が50m2以下までは2点、300m2以下までは3点とする。300m2を超えるものは、監督員と協議する。

[屋外改修用・解体工事用]

適用	測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考
・	作業前	測定１	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	
・	作業中	測定２	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	
・	処理作業後	測定３	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	

ｱｽﾍﾞｽﾄ粉塵濃度測定方法

	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5
計数機器	位相差顕微鏡		
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1ﾘｯﾄﾙ/min	5ﾘｯﾄﾙ/min	10ﾘｯﾄﾙ/min
試料の吸引時間	5min	120min	240min
試料の透明化	ｱｾﾄﾝｰﾄﾘｱｾﾁﾝ法又はｼｭｳ酸ｼﾞﾒﾁﾙ法		
計数条件	総ｱｽﾍﾞｽﾄ繊維数200本又は視野数50視野		
計数ｱｽﾍﾞｽﾄ	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3：1以上		
定量限界	50ｆ/ﾘｯﾄﾙ	0.5ｆ/ﾘｯﾄﾙ	0.3ｆ/ﾘｯﾄﾙ

ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材の処理

・ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去 (9.1.3)

除去対象範囲 ※図示

除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(b)(1)による。

・

除去したｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材等飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・ｾﾒﾝﾄ固化等

厚さ(mm) 処理範囲(※図示(約 m2))

処分方法 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融、無害化処理)

・ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の除去 (9.1.4)

除去対象範囲 ※図示 ・

作業場の隔離 ・行う

処分方法 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融、無害化処理)

・ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板の除去 (9.1.5)

除去対象範囲 ※図示

処分方法

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ ※埋立処分(管理型最終処分場)

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ以外

・埋立処分(安定型最終処分場)・中間処理(溶融，無害化処理)

２断熱アスファルト防水改修工事

改修特記仕様書3章による (9.2.1～3)

３外断熱改修工事 🄶

断熱材 (9.3.2～4)

種類		厚さ(mm)
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材		
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材(ｽｷﾝなし)	・保温板(2種b)	
	・保温板(3種b)	
・A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材		
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材(3種2号を除く)		
・ﾛｯｸｳｰﾙ		
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ		

施工箇所 ・図示 ・

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量 ※規制対象外 ・

外装材

種類	防火性能	備考
・		

既存外壁の措置

既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし

下地面の清掃 ・行う ・行わない

欠損部の改修工法 ・改修標準仕様書4.1.4による ・

工法

通気層の有無 ・あり(mm) ・なし

断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による ・

外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(※1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法)

・適用しない

４ガラス改修工事

※5-18による (9.4.2)

５断熱・防露改修工事🄶

断熱材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量 ※規制対象外 ・ (9.5.2)

・断熱材打込み工法

種　類		厚さ(mm)
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材		
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材(ｽｷﾝ層なし)		
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材		
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材		
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材		
※押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材(ｽｷﾝなし)	・保温板(2種b)	・25 ・
	・保温板(3種b)	・25 ・
	・	・25 ・
・A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材		
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材(3種2号を除く)		

施工箇所 ・図示 ・

・断熱材現場発泡工法 (9.5.3)

断熱材の種類 ※A種1 ・B種1

厚さ(mm) ・25 ・30 ・

施工箇所 ※図示 ・

・現場発泡断熱材

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

・断熱材後張工法 (9.5.4)

断熱材の種類 ・

断熱材の厚さ(mm) ・

６屋上緑化改修工事🄶

植栽基盤及び材料 (9.6.2)

・屋上緑化軽量ｼｽﾃﾑ

芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・

見切り材、舗装材、排水管、ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材等 ※図示 ・

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

かん水装置 ・設置する(種類・ ・) ・設置しない

既存保護層の撤去 ・行う ・行わない

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(※1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)

・適用しない

７透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩行者用通路 (9.7.2、3、5～9)

既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・

路床

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土🄶	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ🄶 ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・	・図示 ・
・ﾌｨﾙﾀｰ層	・砂 ・	・図示 ・

路床安定処理

※添加材料による安定処理

種類 ・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種🄶

・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号)

添加量 kg/m3(目標CBR ・5以上 ・)

・ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ

単位面積質量 ・60g/m2以上 ・

厚さ(mm) ・0.5～1.0 ・

引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ・

透水係数 ・1.5×10cm/sec＾-1以上 ・

試験

砂の粒度試験 ・行う ・行わない

路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない

現場CBR試験 ・行う ・行わない

路床締固め度の試験 ・行う ・行わない

路盤

構成及び厚さ ・図示 ・

材料 ・砕石ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・砕石粒度調整砕石 ・再生材ｸﾗｯｼｬﾗﾝ🄶

・再生材粒度調整砕石🄶 ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ🄶 ・粒度調整鉄鋼ｽﾗｸﾞ🄶

締固め度の試験 ※行う ・行わない

舗装の構成 ※図示

構成 ・図示 ・

試験

開粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・

８路面表示用塗料

(JIS K 5665(路面表示用塗料)による)

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・1種	常温	液状	※ 白	・150	※1.0	塗料総質量に対して5%以下
・2種	加熱		・	・100	・	
※3種 1号	溶融	粉体状				

10 ユニット及びその他工事

１フリーアクセスフロア

[20.2.2]

構法	仕上り高(mm)	寸法(mm)	許容水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
・ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	・100	・500×500 ・600×600 ・	・0.6G(地下及び1階) 1.0G(2階以上) ・1.0G(すべて)	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
・	・	・	・	・	

表面仕上材は仕上げ表、品質・性能は標準仕様書19章による。

構成材の材質 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・鋼製 ・

ｽﾛｰﾌﾟ及びﾎﾞｰﾀﾞｰ ・製造所の仕様による ・図示

配線用取り出しﾊﾟﾈﾙ

ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合 ・20～30% ・

配線取り出し開口 ・ﾊﾟﾈﾙ1枚につき40mmx80mm程度の開口１ヶ所以上 ・図示

(性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

２可動間仕切

[20.2.3]

構造形式	構成基材の種類		総厚さ(mm)	表面材			遮音性	防火性能
	ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ		材質	厚さ(mm)	ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ		
・ｽﾀｯﾄﾞ式(内臓) ・ｽﾀｯﾄﾞ式(露出) ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式 ・ﾊﾟﾈﾙ式				・鋼板 ・	・0.6 ・0.8	・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・焼付塗装	・0・12 ・20・28 ・36	・不燃

ﾊﾟﾈﾙ内に取付ける建具 ・あり(※図示 ・) ・なし

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

ﾊﾟﾈﾙ材料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量 ※規制対象外 ・第三種

３移動間仕切

[20.2.4]

走行方向	操作方法	圧接装置の操作方法	厚さ(mm)	表面材の材質	仕上げ	遮音性
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ回転式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げの壁紙張りの品質 標準仕様書19章による

遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする

ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙの取付け下地の補強

※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する

・図示

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

４トイレブース

[20.2.5]

表面材の材質	脚部		ドアエッジ	
	形状	材質	形状	材質
・ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板 ・ ・	・幅木 ・支柱 ・なし	・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・	・標準 ・R	・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・表面材と同材

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

ﾄｲﾚﾌﾞｰｽﾊﾟﾈﾙのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量 ※規制対象外 ・第三種

５階段滑り止め

[20.2.6]

材種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS304)	・約35	※接着工法	・有り(・ﾋﾞﾆﾙ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製)
ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入り	・	・埋込み工法	・無し

６黒板 ホワイトボード

[20.2.8]

種類		寸法(mm)	色彩	形式	
・黒板	※焼付け		※緑 ・黒	・平面 ・曲面	・ｽｸﾘｰﾝ付き引分け
・WB	・ほうろう		・白	・平面 ・曲面	・ｽｸﾘｰﾝ付き引分け

７表示

[20.2.10]

区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考
・衝突防止表示 (・両面 ・片面)	・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・図示	※80φ ・	※市販品 ・	※図示 ・	
・室名札 ・ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾌ ・とびら番号	・ｱｸﾘﾙ板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
・庁舎案内板 ・各階案内板	・ｱｸﾘﾙ板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
・					

案内用図記号はJIS Z8210による

８ブラインド

[20.2.12]

形式	操作方法	種類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ･ﾚｰﾙの材種	寸法, 取付箇所
・横形	・電動		※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	※図示 ・
	・手動	※ｷﾞﾔ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式				
・縦形	・電動		・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※図示 ・
	・手動	※1本操作ｺｰﾄﾞ式 2本操作ｺｰﾄﾞ式				

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ

クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合🄶

９ロール スクリーン

操作方法 ・プルｺｰﾄﾞ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ・電動式 [20.2.13]

生地材種 ・ポリエステル

遮光性能 ・１級 ・２級 ・３級

巻取りﾊﾟｲﾌﾟ、ｳｪｲﾄﾊﾞｰ、操作ｺｰﾄﾞ又は操作ﾁｪｰﾝその他の材料は製造所の仕様による

10カーテン及びカーテンレール

カーテン [20.2.14]

ひだの種類	形式	開閉操作	取付箇所	備考
・ﾌﾗﾝｽひだ ・箱ひだ・つまみひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ・片ひだ	・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・電動 ・ひも引き ・手引き	※図示 ・	
・				(暗幕)
・				

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合🄶

カーテンレール

材種 ※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ (20.2.14)

形式 ・片引き ・引分け(暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)

形状 ・C型 ・D型 ※角形 ・

11ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅x深さ(mm) ・90x150 ・120x80 ・120x150 ・150x80 ・図示

材質 ・集成材（仕上： ）

・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 表面処理(・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2)

(・ｱﾝﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ)

12天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ	・額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ
		・密閉形			

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

13床点検口

材種	寸法	形式	
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・鋼製 ・鋳鉄製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・屋内用

一般形：ﾊﾟｯｷﾝを装着しないもの、又はがたつき防止用ﾊﾟｯｷﾝを装着したもの

密閉形：ﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ等のﾒｶﾆｶﾙ構造にﾊﾟｯｷﾝを装着したもの

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

14天井見切り縁

材種 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製

15流し台・ｺﾝﾛ台 吊戸棚

製品 ・優良住宅部品(BL製品) ・非BL製品

ﾄｯﾌﾟ材質 ・ｽﾃﾝﾚｽ ・

16水切り棚

材質 ※ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS304) 市販品 ・

17洗面カウンター

材質 ※人工大理石 ・ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板(心材：集成材)

形状 ※図示

奥行き ・約450mm ・約600mm ・図示

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量 ※規制対象外 ・第三種

18木製造付け家具

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量 ※規制対象外 ・第三種

材料に合板、集成材を使用する場合は、内装工事のせっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張りによる

19旗竿

材種及び形式 ｱﾙﾐﾆｳﾑ製ﾃｰﾊﾟｰ付き(※ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・ﾛｰﾌﾟ式)

脚部 ※埋込式 ・ﾍﾞｰｽ式

設定風速 ※60m/sec(地上用)

20車止めさく

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)	備考
・上下式鎖内蔵式	・ｽﾃﾝﾚｽ製	・φ76.3 t=2.0	・GL＋700	
(・標準品 ・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式) ・	・	・	・	

21フェンス

ﾌｪﾝｽの種類 ・ﾋﾞﾆﾙ被覆ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾌｪﾝｽ ・樹脂塗装ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ ・鋼管ﾌｪﾝｽ

・ｱﾙﾐﾌｪﾝｽ ・

高さ ・図示 ・

22敷地境界石標

種類 ※ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ製(市販品) ・花こう石類(文字記号等入り)

設置方法

根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、ｺﾝｸﾘｰﾄで根巻きして建て込む。建て込みは監督員の立ち会いのもと行う。

ｺﾝｸﾘｰﾄの調合 容積比 ｾﾒﾝﾄﾄ1：砂2：砂利4程度

別表

材料名称

仮設工事
- ・
- ・

防水改修工事
- ・防水材
- ・断熱材、接着剤
- ⊙シーリング材
- ・長尺金属板
- ・折板
- ・粘土瓦
- ・とい
- ・
- ・

外壁改修工事
- ・外壁改修材
- ・外壁仕上塗材
- ・
- ・

建具改修工事
- ・アルミ製，鋼製建具
- ・木製建具
- ・建具用金物
- ・ガラス
- ・シャッター
- ⊙シートシャッター
- ・

内壁改修工事
- ・木材
- ・集成材
- ⊙軽量鉄骨天井下地
- ⊙軽量鉄骨壁下地
- ・あと施工アンカー
- ・ビニル床シート
- ・カーペット
- ・合成樹脂塗床材
- ・フローリング
- ・畳
- ⊙せっこうボード
- ・壁紙
- ・断熱，防露材
- ・モルタル
- ・セルフレベリング材
- ⊙タイル
- ・タイル張付け用材料
- ・
- ・

塗装改修工事
- ⊙塗料
- ・
- ・

環境配慮改修工事
- ・
- ・

ユニット，その他工事
- ・フリーアクセスフロア
- ・可動間仕切
- ⊙トイレブース
- ・
- ・

耐震改修工事
- ※鉄筋
- ・溶接金網
- ・スリーブ補強筋（既製品）
- ・型枠
- ・特殊型枠（フラットデッキ他）
- ※コンクリート
- ・セメント
- ・骨材
- ・水
- ・混和材
- ※鋼材
- ・高力ボルト，普通ボルト
- ・アンカーボルト
- ・スタッド
- ・デッキプレート
- ・溶接材料
- ・耐火被覆材
- ・溶融亜鉛めっき
- ・
- ・

監督員の検査を受けて使用すべきとされた材料であっても、設計図書に定めるJIS又はJASのﾏｰｸ表示ののある材料並びに規格、基準等の規格証明書が添付された材料で、監督員の承諾を受けた場合は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとして、取り扱うことができる。

図面番号	工　事　名	図面名	縮尺
	石原水産株式会社　食品産業の輸出向け ＨＡＣＣＰ等対応施設整備緊急対策事業	改修工事特記仕様書（５）	－

田　中　建　築　設　計　室

ＴＥＬ〈0548〉58-2036
ＦＡＸ〈0548〉58-1565　一級建築士登録第208891号　田 中 潔

承　認	設　計	製　図	設計 2025 年 06 月 09 日
			図面 Ｎｏ A － 05